

27期事業報告書

令和2年6月1日 から
令和3年5月31日 まで

27期五ヶ瀬ハイランド事業報告

27期は、新型コロナウイルス感染予防対策を一番の重要課題と位置付けスキー事業部、宿泊事業部共に徹底した感染予防対策を実施し業務を行った。社員(従業員)の徹底した管理や、利用頂いたお客様の協力により、スキー場、木地屋での感染者やクラスター等の確認事例なく今期を無事に終了する事が出来た。このことについては一定の評価を頂いたところである。しかしながら、今期は、サービス業、飲食業、宿泊業に於いては新型コロナウイルスの影響を受け極めて厳しい一年となった。国の方では、観光業や飲食業を支えるGoToトラベル事業や、地域振興券の発行などの支援事業の取組なされ一時は、多くの団体、個人のお客様からの利用予約を頂いた。しかしながら、全国的な感染者の増加に伴い国又は県独自の緊急事態宣言発令後、GoToトラベルの中止、移動制限、イベントや会議、会合等の自粛要請や飲食業に対しての飲食の制限、時短営業、休業要請等が行われた。この様な事から事前予約キャンセルが相次ぎスキー事業部、宿泊事業部共に来場者、利用者が大きく減少し売上高にも大きく影響した。会社全体の今期の売上高は計画比62.3%、前年対比79.1%の158,917,906円で終了し前年対比4,200万円の減収となった。部門別でみるとスキー事業部に於いては、今期は、新型コロナウイルス感染予防対策のガイドラインを設け周知徹底を行い73日間の営業計画を立て来場者3万人を目標に12/25日に営業をスタートした。今期は、積雪はあったが期間中強風などの悪天候の日も多く期間中、11日間がクローズとなり実質62日間の営業を得て3/5日に営業を終了した。今シーズンは、コロナ禍での営業となる為計画達成に向けGoToトラベルを利用したバスツアーの強化や修学旅行でのスキー場利用、学割のPRなどを中心に営業活動を展開した。シーズン前には、県内外の学校17団体約2,200人の修学旅行での利用予約を頂き、バスツアーも順調に営業なされ計画達成への期待が持たれが緊急事態宣言の発令後、GoToトラベルの中止などから殆どの予約がキャンセルとなった。又、例年4,000人を超えて利用ある学校やサークル、地域などの団体でのスキー教室等も多くが、シーズンは自粛により中止となった事から来場者が大きく減少した。今期の来場者は、16,463人で終了し過去最低となった。来場者の減少により売上高も大きく減少し計画比57.1%、前年比77.0%の78,767,868円で終了し前年対比2,360万円の減収となった。宿泊事業部に於いてもスキー事業部同様に、新型コロナウイルスの影響を受けたシーズンとなった。今期は、定休日49日間に加え、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、県・町からの、要請を受けて温泉(12日間)ピアガーデン(14日間)の休業を行い、レストランでは、飲食制限に伴い44日間の時短営業に取り組ながらの営業となった。コロナ禍で宿泊、飲食業への支援事業も展開され修学旅行、合宿での新設された別館への利用予約も頂いていたが県独自の緊急事態宣言後多くがキャンセルとなった。又、自粛制限などで学校や地域の行事等が中止となった事が影響しレストランの宴会、法事等の予約もキャンセルが相次いだ。今期事前予約キャンセルは、団体宿泊1,317名・個人宿泊633名・宴会1,412名・合計3,741名となった。この様な事から宿泊者、レストランの利用者も大きく減少し売上にも影響した。今期の売上高は、計画比60.6%、前年比76.0%の57,422,754円で終了し前年対比1,810万の減収となった。以上の事から、今期は、来場者、利用者の減少により売上が減少し、収支も極めて厳しい結果となった。

27期の会社全体の収支は、次の通りとなった。売上高158,917,906円(計画比62.3%・前年比79.1%)で終了し売上高から仕入原価23,207,097円を引いた売上総利益は、135,710,809円となり、前年対比で3,320万円の減収となった。費用(経費)については、社員(従業員)の協力を得て、スキー事業部の燃料費280万円、広告費、190万円、光熱費450万円、宿泊事業部では、燃料費266万円、光熱費100万円などが減少した事から合計で前年比で1,800万円削減する事が出来た。今期の販売管理費の合計は、191,482,649円となり、売上総利益から販売管理費を差し引いた当期の、営業損益は-55,771,840円で終了し事業外収益(2,740万円)、事業外費用(59万円)を加えた今期の経常損益-28,872,281円で終了し法人税・地方税2,159,200円を加算した当期純損益は-31,031,481円となり赤字計上となった。

27期五ヶ瀬ハイランド事業実績

項目	27期実績	適用	27期計画	計画対比		26期実績	26期対比		適用
				%	金額		%	金額	
スキー場売上	78,767,868		138,000,000	57.1%	-59,232,132	102,335,136	77.0%	-23,567,268	
宿泊売上	21,608,250		35,000,000	61.7%	-13,391,750	23,616,463	91.5%	-2,008,213	
温泉売上	3,811,075		3,650,000	104.4%	161,075	3,637,200	104.8%	173,875	
レストラン売上	27,761,315		49,700,000	55.9%	-21,938,685	43,250,950	64.2%	-15,489,635	
売店売上	4,242,114		6,000,000	70.7%	-1,757,886	5,030,175	84.3%	-788,061	
宿泊事業部売上合計	57,422,754		94,350,000	60.9%	-36,927,246	75,534,788	76.0%	-18,112,034	
受託料	22,727,284		22,727,273	100.0%	11	23,078,008	98.5%	-350,724	
売上高合計	158,917,906		255,077,273	62.3%	-96,159,367	200,947,932	79.1%	-42,030,026	
仕入原価	23,207,097	商品、食材仕入	38,297,800	60.6%	-15,090,703	32,041,298	72.4%	-8,834,201	
売上総利益	135,710,809		216,779,473	62.6%	-81,068,664	168,906,634	80.3%	-33,195,825	
人件費	89,260,620	給与・パート給与・法定福利・福利厚生費他	93,601,200	95.4%	-4,340,580	93,831,017	95.1%	-4,570,397	
その他販売管理費	102,222,029		122,142,800	83.7%	-19,920,771	115,677,293	88.4%	-13,455,264	
販売管理費合計	191,482,649		215,744,000	88.8%	-24,261,351	209,508,310	91.4%	-18,025,661	
営業損益	-55,771,840		1,035,473	-5386.1%	-56,807,313	-40,601,676	137.4%	-15,170,164	
事業外収益	27,495,728		1,600,000	1718.5%	25,895,728	6,965,076	394.8%	20,530,652	
事業外費用	596,169		0	0.0%	596,169	55,380	1076.5%	540,789	
経常損益	-28,872,281		2,635,473	-1095.5%	-31,507,754	-33,691,980	85.7%	4,819,699	
法人税・地方税等	2,159,200	事業税、県・町税	2,100,000	102.8%	59,200	2,104,600	102.6%	54,600	
当期純損益	-31,031,481		535,473	-5795.2%	-31,566,954	-35,796,580	86.7%	4,765,099	

貸借対照表

株式会社 五ヶ瀬ハイランド

令和3年5月31日現在

単位:円

資 産 の 部		負 債 の 部		
【流動資産】		【15,317,423】	【流動負債】	【45,955,742】
現金		573,182	買掛金	3,821,781
普通預金		10,816,885	短期借入金	10,000,000
普通預金		317,840	未払金	8,570,330
普通預金		118,759	前受金	20,833,330
売掛金		425,307	預り金	368,901
繰越商品	棚卸在庫	564,323	未払法人税	2,155,400
貯蔵品		1,191,606	未払消費税等	206,000
原材料		1,033,649	【固定負債】	【59,583,000】
前払費用		6,297	長期借入金	59,583,000
未収金		183,996	負債合計	105,538,742
立替金		4,599	純資産の部 (資本)	
その他流動資産		80,980	【株主資本】	△ 87,341,530
			【資本金】	【300,000,000】
			資本金	300,000,000
【固定資産】		【2,879,789】	利益準備金	1,200,000
(有形固定資産)		2,709,789	繰越利益剰余金	△ 388,541,530
建物		1,054,451	その他利益剰余金	△ 388,541,530
什器備品		73,139	利益剰余金合計	△ 387,341,530
構築物		184,080		
機械装置		1	純資産合計 (資本)	△ 87,341,530
建物附属設備		1,398,118		
(投資その他資産)		170,000		
出資金		100,000		
保証金		70,000		
資産合計		18,197,212	負債・純資産 (資本) 合計	18,197,212

損益計算書

株式会社 五ヶ瀬ハイランド

自 令和2年 6月 1日

至 令和3年 5月31日

単位：円

		金	
【売上高】			
スキー場売上		78,767,868	
受託料収益		22,727,284	
宿泊売上		21,608,250	
温泉売上		3,811,075	
レストラン売上		27,761,315	
売店売上		4,242,114	158,917,906
【売上原価】			
期首棚卸高		1,448,191	
仕入高		5,943,142	
食材仕入高		17,413,736	
＊ ＊ 合計 ＊ ＊		24,805,069	
期末棚卸高		△ 1,597,972	23,207,097
	売 上 総 利 益		135,710,809
【販売費一般管理費】			192,225,545
	営 業 損 失 額		△ 56,514,736
【営業外収益】			
受取利息		203	
雑収入		27,495,525	27,495,728
【営業外費用】			
雑損		1,637	
支払利息			1,637
	経 常 損 失 金 額		△ 29,020,645
	税引前当期純損失金額		△ 29,020,645
	法人税・住民税・事業税	2,157,400	2,157,400
	当 期 純 損 失 金 額		△ 31,178,045

第 18 期

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 31 日まで

事業報告書

事業概況

第 18 期における工場売上高（小売店・飲食店・卸業者・ワイン館出荷他）は、77,329 千円で第 17 期売上高（105,030 千円）に対しまして 27,701 千円減（73.6%）となりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を大きく受け、ワイン館への出荷額が約 9,600 千円減（74.3%）、町内小売店が約 2,100 千円減（76.5%）、飲食店が約 2,250 千円減（57.2%）など観光や外食産業への打撃が売上高に直結した形となりました。あわせてイベントの開催中止も相次ぎ、販売会等での売上げが計上できなかったことも一因となりました。一方で、巣ごもり需要の増大によりスーパーや百貨店などでの売上げが堅調であったことから、卸業者への出荷額は約 1,300 千円減（96.1%）に止まりました。また、新型コロナウイルス感染症に関する影響以外の部分では、前期にグラノ 24K 様から請負いました委託製造の売上げ約 7,000 千円分が減少いたしました。

直売所である売店「ワイン館」の売上高は 44,781 千円で、前期（65,911 千円）に対しまして、21,130 千円減（67.9%）となりました。前期においては、インフラ整備が進むとともに募集型のバスツアーや一般団体客が増加傾向にあり、熊本地震以降、順調に売上げを伸ばしておりましたが、今期は年間を通じてバスの入込みが皆無で、売上高に大きな影響を受けました。また、年間で最も売上げの期待できるゴールデンウィーク期間（4/29～5/6）の 8 日間を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から休館したこともマイナスの要因となりました。一方で、通信販売の売上げは前期に対しまして約 1,800 千円増（181.2%）となりました。巣ごもり需要やクレジットカード決済を追加したことがプラス要因として働いたと考えられます。しかしながら、来館客の減少による売上げ低迷を補うまでには至りませんでした。

レストラン「雲の上のぶどう」の売上高は 11,127 千円で前期（18,985 千円）に対しまして、7,859 千円減（58.6%）となりました。前期において好調であった夜の予約営業や同窓会等の町民の方々の利用、募集型団体ツアーの受け入れにより、2012 年のリニューアル以降、熊本地震の年を除いて順調に推移しておりましたが、年間を通じて席数の制限やゴールデンウィーク期間の休業、夜の営業ができないなど多くの制約の中での営業を強いられ、売上げが大きく減少いたしました。しかし、厳しい状況の中でも弁当やオードブルの注文販売に取り組むなど売上げ確保に努めました。

農園売上高は、生産者 6 戸の圃場管理において今期 5,185 千円となり、前期（4,902 千円）に対しまして 283 千円増（105.8%）となりました。一部の預かり圃場において生産性が上がらないという側面もあり、大きな生産量の増加とはなりません。

それでは、当期の事業概況についてご報告申し上げます。

売上高 138,421 千円、当期純損益金額△21,909 千円、当期未処理分損失金額は 84,559 千円という結果となりました。

貸 借 対 照 表

五ヶ瀬ワイナリー株式会社

令和 3年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I【流 動 資 産】	190,696,224	I【流 動 負 債】	134,309,301
現金及び預金	45,989,892	短期借入金	127,500,000
売掛金(売店)	1,433,378	未払金	2,564,139
売掛金(工場)	5,183,279	未払費用	3,345,786
売掛金(レストラン)	103,750	未払法人税等	182,500
棚卸資産	137,478,930	未払消費税等	635,500
前払費用	125,715	預り金	81,376
未収入金	340,000		
仮払金	30,000	II【固 定 負 債】	60,000,000
立替金	11,280	長期借入金	60,000,000
II【固 定 資 産】	5,097,277	負債合計	194,309,301
1【有形固定資産】	4,484,350	純 資 産 の 部	
建物附属設備	314,050		円
車両運搬具	2	I【株 主 資 本】	1,484,200
工具器具備品	382,112	1 資 本 金	50,000,000
器具備品	31,059	2【資 本 剰 余 金】	36,043,573
機械装置	3,757,127	(その他資本剰余金)	36,043,573
2【投資その他の資産】	612,927	3【利 益 剰 余 金】	△84,559,373
保険積立金	612,927	(その他利益剰余金)	△84,559,373
		繰越利益剰余金	△84,559,373
		純 資 産 合 計	1,484,200
資 産 合 計	195,793,501	負債・純資産合計	195,793,501

損 益 計 算 書

五ヶ瀬ワイナリー株式会社

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

科 目	金 額	円
I 【売 上 高】		
売上高（売店）	44,781,342	
売上高（工場）	77,328,706	
レストラン売上高	11,126,750	
売上高（農園）	5,184,639	138,421,437
II 【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	7,369,075	
期首製品棚卸高	117,800,337	
商品仕入高	37,796,916	
酒 税	2,390,500	
当期製品製造原価	49,455,856	
期末製品棚卸高	119,167,316	
期末商品棚卸高	3,877,963	91,767,405
売上総利益		46,654,032
III 【販売費一般管理費】		88,636,720
営業損失		41,982,688
IV 【営業外収益】		
受取利息	596	
雑収入	13,990,437	13,991,033
V 【営業外費用】		
雑損失	411,000	
支払利息	3,202,353	3,613,353
経常損失		31,605,008
VI 【特別利益】		
補助金収入	10,000,000	10,000,000
VII 【特別損失】		
その他の特別損失	7,702	7,702
税引前当期純損失		21,612,710
法人税、住民税及び事業税	295,900	295,900
当期純損失		21,908,610